

かながわの交通

2024
9月号

交通安全年間スローガン受賞作品 (全日本交通安全協会会長賞)
一般部門：歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの

反射材 光って気づいて 事故防止



秋の全国交通安全運動ポスター



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

**歩行者
事故
多発!**

◎県内の交通事故発生概況 (令和6年8月末現在)

年別	区分	発生件数	死者数	負傷者数
令和6年		13,332	65	15,452
令和5年		13,997	71	16,539
増減数		-665	-6	-1,087
増減率		-4.8%	-8.5%	-6.6%

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,227,492	4,573,085	4,654,407
免許人口	5,679,889	3,211,632	2,468,257
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.8人に1人



ホームページ

(県人口は令和6年8月1日、免許人口は令和6年7月末現在)

令和6年 秋の全国交通安全運動

～ 9月21日(土)から9月30日(月)の10日間 ～

9月30日(月)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

目的

この運動は、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故を防止することを目的としています。

スローガン

挙げる手を やさしく見守る 横断歩道

運動重点

- 1 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- 2 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶
- 3 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
- 4 二輪車の交通事故防止



～高齢者交通事故多発地域の指定について～

令和6年上半年期の高齢者関係交通事故の死者数は21人で死者数全体の41.2%、さらに全事故に占める高齢者関係事故は33.8%となっています。

高齢者が関係する事故が多い、又は全事故に占める高齢者事故の割合が高い次の13地域が、9月1日付けで高齢者交通事故多発地域に指定されました。

該当地域 計13地域(1区6市6町)

※逗子市、三浦市、大井町、松田町、箱根町は重複

指定基準①

高齢者人口1万人当たり
の高齢者が関係する事故の
発生件数が、県内平均より
30%以上高いこと

指定基準②

全交通事故の発生件数に占める高齢者が関係する事故の
割合(構成率)が県内平均より10ポイント以上高いこと

指定基準③

高齢者が関係する事故の死者数が、3人以上の市区町村

高齢者交通事故多発地域	
指定基準①	中区、逗子市、三浦市、海老名市、寒川町、大井町、松田町、開成町、箱根町
指定基準②	小田原市、逗子市、三浦市、秦野市、南足柄市、大磯町、大井町、松田町、箱根町
指定基準③	なし



令和7年使用 交通安全ポスターデザイン募集

- ◆ 主催 一般社団法人全日本交通安全協会 毎日新聞社
- ◆ 後援 内閣府、警察庁、法務省等
- ◆ 協賛 全国共済農業協同組合連合会
- ◆ 募集部門及び応募資格
 - ☆ 一般部門A＝運転者(同乗者を含む)に呼びかける部門・・・誰でも応募可
 - ☆ 一般部門B＝歩行者等に呼びかける部門・・・誰でも応募可
 - ※ 歩行者等とは、自転車・特定小型原動機付自転車利用者を含みます
 - ☆ こども部門＝こどもたちに交通安全を呼びかける部門・・・中学生以下のみ応募可



全日本交通安全協会会長賞
神奈川県
伊藤 文人

- ◆ 応募要領
 - ◎ 募集期間 令和6年11月下旬～令和7年1月31日(消印有効)
 - ◎ 募集内容
 - ① ポスターに使用するスローガン
 - 各部門とも「令和7年使用交通安全年間スローガン」の内閣総理大臣賞受賞作品(令和6年11月下旬発表予定)を原文のまま使用すること。原文の漢字をひらがなやカタカナにしたり、句読点や括弧を付けるなど変形させた場合は審査対象とならない。
 - ② 作品サイズ
 - ☆ 一般部門A、B B3判またはB3判相当の四ツ切り用紙 縦位置に限る
 - ☆ こども部門 B3判またはB3判相当の四ツ切り用紙 縦・横位置自由
 - (注) 印刷用のトンボ(断裁位置の目印)や余白は不要。障がい等で上記作品サイズを描くことが困難な場合は、「交通安全ポスター」事務局(毎日企画サービス内)にお問い合わせください。
 - ③ 制作上の注意
 - 本ポスターデザインは交通安全を訴えるものであることから、交通ルールを遵守したものとし、制作にあたっては、特に以下の点に注意すること。ただし危険性を訴える目的で信号機等を擬人化するなど、制作上必要性が認められる場合は審査の際に考慮する。
 - ・ 信号機、標識、標示等を正しく描く。
 - ・ 車内の人物にはシートベルトまたはチャイルドシートを正しく装着させる。
 - ・ 自転車・特定小型原動機付自転車を素材にする場合は、車体(ブレーキ等)と乗り方を正しく描く、ヘルメットを正しく着用させる。
 - ④ 自作、未発表作品に限る
 - 他者の知的所有権を侵害しないこと。他者の作品や顔写真、商品、商標等が作品中に含まれていると判断された場合は審査の対象とならない。
 - ⑤ 応募点数に制限はもうけない 共同制作も可。
 - ⑥ パソコンによる制作、レタリングやイラストレーションの使用、写真のデザイン化も可。
 - ◆ 賞 〈最優秀作〉
 - 内閣総理大臣賞(各部門1点)賞状、盾と賞金10万円
令和7年春の全国交通安全運動のポスターとして使用予定
 - 〈優秀作〉
 - 内閣府特命担当大臣賞(各部門1点)賞状、盾と賞金3万円
令和7年秋の全国交通安全運動のポスターとして使用予定
 - 文部科学大臣賞(こども部門1点)賞状、盾と図書カード(本人2万円・在学校1万円)
 - 〈優良作〉
 - 警察庁長官賞(各部門1点)賞状、盾と賞金1万円
 - 〈佳作〉
 - 全日本交通安全協会会長賞(各部門1点)賞状、賞金5千円
 - 毎日新聞社賞(各部門1点)賞状、賞金5千円
 - ◆ お問い合わせ先 毎日企画サービス内「交通安全ポスター」事務局
(TEL:03-6265-6815 平日午前10時～午後5時)
 - ◆ 送り先 〒262-0003 千葉市花見川区宇那谷町1501-2 株式会社ベターサービス「交通安全ポスター」係
 - ◆ 発表 令和7年3月中旬の毎日新聞紙上とホームページ、NHKテレビなど

☆第56回交通安全こども自転車全国大会結果☆

横浜市立小田小学校(横浜市金沢区) 総合7位入賞

令和6年8月7日(水)東京ビックサイトにおいて「第56回 交通安全こども自転車全国大会」が開催され、横浜市金沢区「横浜市立小田小学校」が神奈川県代表チームとして本大会に出場し、総合7位に入賞しました。



向かって左から 窪 優悟選手、窪 大選手、菅原 佑太選手、大内珠花選手



東京ビックサイトの前で記念撮影



筆記試験会場での一コマ



緊張をほぐす選手たち



緊張の開会式



窪 大選手



菅原 佑太選手



実技テスト会場前で記念撮影



有明ワシントンホテルで行われた学科テスト



コースの下見は入念に

ルーリィとウォッチャも応援



大内 珠花選手

窪 優悟選手

今回の大会は猛暑の中、東京ベイ有明ワシントンホテル3階アイリスの間で学科試験、東京ビックサイト東1ホールで実技試験が行われ、優勝は埼玉県秩父市立秩父第一小学校、第2位は静岡県浜松市立平山小学校、第3位は福岡県久留米市立小森野小学校という結果になりました。

神奈川県代表の横浜市立小田小学校は昨年に引き続き全国大会出場となり、総合順位も7位入賞と素晴らしい結果を残しました。金沢交通安全協会の早坂光男事務長は「来年も県大会を勝ち抜いて全国大会に出場し、全国制覇を成し遂げたい」と意気込みを語られています。

令和5年度交通安全ファミリー作文コンクール入賞作品の紹介

神奈川県横浜市立茅ヶ崎東小学校 六年 田中 紳 慈

●事故の痛みを乗り越えて

ドンッ！ 右肩に固いものが突然、ぶつかり、痛みが走りました。六年生になったばかりの四月、道路を渡っていた下校途中、僕はワゴン車と接触する事故にあいました。現場は、自宅のすぐ近く、普段は車がほとんど通らない、静かな住宅街の中、横断歩道のない、通学路に指定されている場所でした。ただ、そこは電柱と生い茂る街路樹のせいで見通しが悪く、僕はいつものように、歩道から車道に降り車が来ないか確認していたところ、ワゴン車に接触してしまったのです。

幸い、肩が少し痛むだけだったので、僕は急いで家に帰り、両親に「目の前の道路で車にぶつかった」ことを話しました。急いで、両親と現場に戻った僕に、運転手さんは「そちらが飛び出してきた」と言いました。

その言葉を聞き、僕は、自分が不注意だったのかもしれないと自分を責めはじめました。

数分後、サイレンを鳴らしたパトカーが到着しました。

僕は「いよいよ、大ごとになってしまった。もっと気をつけていれば」とさらに暗い気持ちになり、胸が痛くなりました。

しかし、警察官の方は「大変だったね。けがは大丈夫かな」と優しく話しかけてくれました。

そして、手ぎわよく運転手の人からも話を聞き、両親と僕に「今は痛みがなくても、必ず医師の診察を受けてくださいね」と言いながら、ほほえみかけてくれました。

続いて、かけ付けた校長先生も、お見舞いの言葉をかけてくれただけでなく、現場の街路樹の様子を詳しく確認してくださいました。

その後、運転手さんの勤めている会社からも

「前方不注意でした」との丁寧な謝罪があり、自分を責め続けていた僕の胸の痛みは少しずつ和らいでいきました。

そして、夏休み前、学校から依頼を受けた区の土木事務所の方が現場の街路樹を大きく刈り込み、見通しがとても良くなりました。

事故にあったばかりの頃は、肩の痛みだけでなく、自分を責める気持ちから来る心の痛みに悩まされ、眠れない日もありました。

しかし、警察官の方、学校の先生方、お医者さん、両親が、優しい言葉をかけてくれ、また、街路樹が刈り込まれたのを見て、自分を責める気持ちは、だんだんお世話になった方々への感謝へと変わっていきました。

僕は今回、交通事故の被害者となり、被害者の痛みには、けがから来る体の痛みだけでなく、被害にあった自分を責めてしまう、心の痛みもあることを知りました。

ただ、その痛みでさえ、色々な人の真心に触れることで、やわらげられることも同時に知りました。

事故のことは、二度と思い出したくないけれど、今回お世話になった方々への感謝は、一生忘れません。

そして、お世話になった方々への恩返しとして、自分の体験を同級生や下級生に伝え、事故にあわないよう注意を呼びかけるとともに、不幸にも事故にあってしまったときには、周囲の人に助けを求めることの大切さを、多くの友だちに分かってもらえるよう努めたいと思います。

※今回は紙面の関係で「交通事故の悲劇に学ぶ」はお休みします。

この人

221



伊勢原交通安全協会
会長

い い ず か た け ひ こ
飯塚 武彦さん



“交通安全教育活動の更なる推進”

会長に就任して6期12年在任中、交通指導員60名を抱える交通安全協会。

コロナ過の厳しい社会情勢を耐えながら様々な諸活動を他交通団体と共に推進しております。

管内における交通事故発生状況は減少傾向で推移しているなか、高齢者の関係する交通事故が多発傾向であるのが地域性と思われます。今後の重点課題として高齢運転者の交通安全教育等「より安全運転意識を高める教育」に重きを置き、充実した交通安全教育の推進を図ることが求められます。交通安全協会が高齢運転者の単なる免許更新のお手伝いだけでなく「地域に貢献する魅力ある交通安全教育の活動」の拠点としての存在でなければと考えます。

近年二輪車による事故が増加し社会問題ともなっています。その中でも自転車は自動車・オートバイ等に比べ手軽な移動手段という事もあり気軽な気持ちのまま運転しているケースが多々あるのではないのでしょうか、

そのことによりルール・マナーの軽視に繋がっているように感じています。私達伊勢原交通安全協会は過去の先輩の時代より欠かす事無く毎年行われている「交通安全こども自転車神奈川大会」に参加させていただいております。この大会は子供達に自転車の乗り方における技術・ルール・マナーを教える絶好の機会と感じています。しかし近年は参加するチームが激減しています。

自転車・二輪車による事故の大半は、交通ルールの無視・マナーの欠如による迷惑運転等が原因で発生している現状であり、社会問題となっている今こそこの大会を通じて、参加した子供達を中心となり地域の交通安全の模範となって将来の交通事故減少に大きく繋がると思っています。

各交通安全協会が、厳しい運営になるであろう状況ではありますが、今まで通り又それ以上の充実した交通安全活動が出来るよう頑張ったいと思っています。

取材協力：伊勢原交通安全協会

こんにちは「伊勢佐木交通安全協会」です

横浜市中区には加賀町警察署、山手警察署、横浜水上警察署と伊勢佐木警察署の4警察署があり、所管する地域もそれぞれに特色があり、特異な所轄を担当する地区となっています。

当協会は、美空ひばりが歌手デビューした年、1948年に発足し、それから28年後の1976年に現在の伊勢佐木警察署1階に事務所を構えました。

目の前には、旧吉田川を埋め立てた延長1.2キロメートルの大通り公園があり、その下には横浜市営地下鉄が走っております。

最寄り駅の「伊勢佐木長者町駅」は事務所を移転してから数年後に完成しました。

県下で最も歴史が古い警察署のひとつである伊勢佐木警察署は、繁華街、商店街、住宅街にドヤ街と形態の異なる街が混在する地域で、当協会は、伊勢佐木町、福富町、曙町等いわゆる“関外”地区を中心に交通安全推進活動を進めてきました。

2023年の伊勢佐木警察署管内の交通事故は発生件数198件の内、死亡事故1件、負傷者数は230人と言う状況にあります。

繁華街ゆえに夜間でも人通りが多いところも多くなっていますが、昼間帯の交通事故が増えており、一般市道における自転車、高齢者の関係する交通事故が多く発生しております。

交通安全キャンペーンは、中区の4交通安全協会と連携して、合同で実施することも多くあり、JR桜木町駅前広場、京急日ノ出町駅前、イセザキモール等で交通事故防止を呼び掛け啓発物の配布を行っております。

協会は依田会長以下72名で事務局は2名です。

高齢者や自転車利用者に対し、交通安全啓発活動を重点に実施し、地域住民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図り、安全で安心して住みやすい地域社会の実現を目指し計画的、効果的に交通安全活動を推進しております。

(雨宮 記)



地区交通安全協会の活動紹介



神奈川 警察署前における
二輪車事故防止キャンペーン



横浜水上 大栈橋周辺における
二輪車事故防止キャンペーン



藤沢北 湘南台駅周辺における
二輪車事故防止・違法駐車撲滅キャンペーン



中原 警察署前における
交通安全七夕祭りキャンペーン



秦野市 国道246号線沿線における
二輪車事故防止引き込みキャンペーン



大船 警察署前における
二輪車事故防止キャンペーン



厚木警察署管内 厚木市等と連携した国道246号線における
交通事故防止キャンペーン



津久井 警察署前における
交通安全七夕祭りキャンペーン

交通安全活動

賛助会員の紹介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- 上山 敏明 ————— 相模原市中央区
- 大成建設(株) 横浜支店管理部管理室 ————— 横浜市中区
- 日産自動車(株) 本牧専用埠頭 ————— 横浜市中区

賛助会員入会のお願い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で安心な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。

インフォメーション

- 違法駐車追放運動 ————— 10月中 各 地 区
- かながわバイクリカレントスクール ————— 10月5日(土) 運転免許センター
- セーフティライダーズスクール ————— 10月26日(土) 運転免許センター